

平塚市行政改革推進委員会(事業評価)の結果について

事業No.	3							
事業名	敬老祝賀事業			所管課	高齢福祉課			
判定結果	見直し		傍聴者数	31人				
判定内訳	現行 どおり	0	見直し	7	国・県	0	廃止	0

事業評価シートの記載内容

【委員長】 見直し(廃止に近い)

- ・他の事業のやり方で同じ目的を達成すべきではないか。
- ・担当者の発言が矛盾しすぎて不明な点が多いのだが、一番の問題は効果測定意識が全くみられないこと。「アンケートするつもりはない。」「満足度を聞くつもりはない」・・・
- ・目的が何で、その目的に向けてこの事業が必要だという理由が分からない。
- ・他に予算を回した方が良いのではないか。

【副委員長】 見直し・・・平塚市が今後も関与するべきだが方法を見直すべき

- ・総費用の枠を決めて、祝い品及びメッセージカードの内容を見直すべき。
- ・健康寿命向上策に重点を置いてほしい。
- ・次のステップとして88歳(米寿)のお祝いは不要では。100歳以上で良いと思う。

【A委員】 見直し・・・事業費を削減するべき

- ・メッセージカード作成業務委託料の見直しをすべき。

【B委員】 見直し

- ・事業の存続には反対ではないが、対象高齢者数が増加しても持続可能な仕組みを今から備えておくべきだと思う。その為には、更なるコスト減が求められていると思う。その場合には、祝い品の入手方法、メッセージカード作成が対象になると思う。

【C委員】 見直し

- ・88歳、99歳以上は一つの長寿の目安、節目だと思う。祝い品の配布は、一つの手段だと思うが、例えば、自治会連合会、単位自治会、社会福祉協議会などで実施している敬老会などで金銭に限定せずに支援していくのも考えてほしい。

【D委員】 見直し・・・平塚市が今後も関与するべきだが方法を見直すべき

- ・生存確認等は別の方法でも可能では。
- ・祝い品、祝い金については、どちらでも良いと思いますが、良い品にするなら、この金額の中で、これかこれなのですがどちらが良いですかと言う様にひと手間相手に選ばせてあげては？
- ・又民生委員の人の声もぜひ聞かせて欲しかった。

【E委員】 見直し

- ・年齢要件の見直し(88歳をやめる若しくは縮小)
- ・該当者アンケート
- ・メッセージカードの見直し